

計画実現のために

● 県民参加による県政の推進

この計画が目指す住みよい豊かな郷土は、すべての県民のためのものでなければならず、また、それは県民一人ひとりの力によって作りあげていくものです。県政の推進についても、県民一人ひとりが主体的かつ実質的に参加して進めなければなりません。

今後、県議会をはじめ各種審議会等の意見を十分に尊重するとともに、公聴活動の充実をはかり、県政への多様な参加の機会を設け、県民の意見や要望を的確には握、吸収することに努めます。

また、これとあわせて、県政の主要施策などについての情報をわかりやすい形で提供することに努めることとします。

● 市町村及び民間との協力・協調体制

計画目標の達成のためには、県内のすべての力の結集が必要です。このため、まず市町村と十分連絡調整をはかり、県・市町村一体となって推進に当たるものとします。特に、県と市町村との間において、連絡会議を定期的に開催するとともに、市町村職員の県への受け入れを継続して推進し、職員の資質の向上と県・市町村間の相互理解の促進に資することとします。

また、県勢の発展のためにも、民間の協力が不可欠あり、この計画に掲げた目標は、その多くは民間での活力に頼るものであります。今後とも、民間との一体的な協力関係の醸成に努めます。

● 県の行財政の効率的運営

これからの県財政の見通しは極めて厳しく、また、行政需要は複雑かつ多様化すると思われま

す。この計画の具体化に当たっては、新しい時代に即応した合理的、効率的な行財政の運営をはからなければなりません。

1. 効率的、弾力的な行政運営

行政の効率的な運営のため、これを担う職員の研修の充実特に力を入れ、職員の資質の向上と組織としての能力開発をはかります。これとあわせて、事務の効率化と機構の簡素化をはかり、組織の弾力的、効率的な運用をはかることに努めます。

また、国の行政事務の簡素化や国、地方公共団体間の事務配分のあり方について、国における検討を期待するとともに、県と市町村の間においては、適正な役

割分担についても検討を加えます。

2. 計画的な財政運営

県財政については、今後の見通しをふまえながら、財政の健全化に努めるとともに、県民の需要に的確に対応しつつ、新たな視点から社会的な必要性や優先度を検討し、重点的、計画的な財政運営を行います。

3. 財源の確保

国に対しては、財政事情の大変厳しい時代ではありますが、こういう時代だからこそ、これまで開発の遅れている本県にウェットをおき投資が行なわれよう強く働きかけます。

また、地方税源の拡充、地方交付税制度の充実、国庫補助制度の再検討などを要望し、財源確保に努めます。